

新年明けましておめでとうございます

1月1日の能登半島地震におきまして、お亡くなりになられた方々、そのご家族、ご親族、関係者の方々に對しまして、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。まだまだ不安な日々が続いておりますが、被災地の日も早い復旧・復興を祈念しております。

東観推は本年もオール東北で各種事業に取り組んでまいります。「旅東北NEWS」は独自データの分析・旬なテーマの特集記事など、幅広い情報提供をしてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。



台湾で東北一体となったプロモーションを実施しました（12月7日～10日）

●東北PRイベント「日本東北遊楽日」を開催（12月9日・10日）

台湾において、東北の知名度向上等を目的に、東北PRイベント「日本東北遊楽日」を開催し、東北・新潟の魅力を強力に発信しました。イベントの開催に合わせて、東北から官民で300人を超える関係者が現地に渡航し、東北一体となったプロモーションを実施しました。

台湾における訪日旅行の需要増加を背景に、イベントではオープニング前から開場を待ちわびる来場者による長蛇の列ができるなど、会場は常に熱気に包まれました。目標を上回る9.3万人にご来場いただきました。



【オープニングセレモニー 集合写真】



【ウェルカムコーナー】



【秋田犬ツリー】



【PRブース】



【ステージの様子】

●東北観光セミナー・商談会・交流会（12月8日）

台湾現地の旅行会社に対し、東北及び各県市のプレゼンテーションや商談会、交流会を実施しました。当日は100社を超える現地旅行会社が参加しました。

特に、商談会においては、東北から渡航した官民40団体が旅行会社とおおよそ3時間にわたり商談を実施しました。

今後の訪東北旅行商品の増に繋がる取組みとなりました。



【東北観光セミナー】



【商談会】

●現地航空会社訪問（12月7日）

現地でのプロモーション実施に合わせ、東北の自治体・関係機関と共に台湾の航空会社各社を訪問し、東北への新規就航や路線再開、機材大型化等と呼びかけました。

台湾から訪東北への需要が高まっており、東北の各地へのチャーター便の就航が計画されているタイミングで東北一体となり直接セールスを行うことができ、効果的なプロモーションの機会となりました。



【チャイナエアライン訪問】



【タイガーエア台湾訪問】

●台中市・台北市学校訪問（12月7日～8日）

日本東北遊楽日の開催に先立ち、台湾の学校からの東北への国際教育旅行の誘致を目指して（公財）3.11伝承ロード推進機構と連携して台中・台北の学校への訪問を実施しました。

台中市は震災の経験があることから、「東北での震災学習について意義深い」とのお声をいただきました。



【学校訪問の様子】



【学校訪問の様子】

万博ポータルサイトへの観光体験コンテンツ掲載申請について

万博ポータルサイト Expo 2025 Official Experiential Travel Guideが、2024年4月4日より開設されます。こちらは、大阪・関西万博来場予定者に向けて、万博テーマとの親和性が高い全国各地の高付加価値な体験や過ごし方を提案することで、大阪から全国各地への周遊を促すためのサイトとなります。



MEET ME AT
EXPO 2025!

2024年1月より、サイトに掲載する旅行商品の登録申請受付が開始され、2024年4月にはサイト上で予約・決済が可能な状態（販売開始）となる予定です。

国内外の旅行者へのPRの機会としてご活用いただくため、サイトへのコンテンツ掲載申請についてぜひご確認ください。

【申請方法はリンク先のお知らせ欄に掲載】

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240111-03/>



秋田空港にタイガーエア台湾チャーター便が就航しました（12月10日）

秋田空港と台湾を結ぶタイガーエア台湾のチャーター便の運航が、12月10日に始まりました。秋田と台湾を結ぶ国際チャーター便の運航は2019年12月以来、4年振りとなります。同日、秋田空港では第1便の到着に合わせ記念セレモニーが開催され、来訪した多くの旅行客で賑わいました。

秋田空港と台湾の桃園国際空港を結ぶチャーター便は、12月10日から2024年3月末まで、毎週木曜日と日曜日に各1日1往復します。

今後、秋田空港に加え、青森空港、山形空港、福島空港でも台湾からのチャーター便が就航する見込みです。東北と台湾の往来が一層活発になることから、東北一体となったプロモーションに引き続き注力してまいります。



【秋田空港での記念セレモニー】

豪州向けファムツアー（みちのく潮風トレイル）に参加しました（12月4日）

AT（アドベンチャーツーリズム）の総合的プロモーションを目的とした日本航空東北支社主催豪州向けファムツアーが、12月3日～7日で実施され、行程2日目の岩手県宮古市周辺の視察に参加しました。本ツアーは岩手県・青森県の「みちのく潮風トレイル」のコースを中心に巡る内容で、豪州国内の旅行会社3社3名が参加されました。宮古市浄土ヶ浜周辺をサイクリングやトレイルハイキングをしながら視察しました。

参加者からは、トレッキングの文化は豪州市場の中でもだいぶ浸透してきている一方で、人気のある熊野古道や中山道等は混み合っており宿泊の予約が難しく、コースからの風景が想像以上に素晴らしい「みちのく潮風トレイル」を商品化したいという声がありました。

東観推としまでも、引き続き各事業者と連携しながら、AT等をフックとした東北への誘客の促進を行ってまいります。



【トレイルハイキングの様子】

香港旅行会社招請（12月19日～23日）

香港において、中・高所得層は団体パッケージツアーを購入して旅行する傾向があるなどを踏まえ、現地から旅行会社2社2名を招請しました。

今回は、東北の食事・温泉・文化体験をテーマに秋田県・岩手県・宮城県・山形県を視察しました。全体を通して食事と温泉は非常に好評であり、特に鳴子ホテルでのビュッフェ、男鹿観光ホテルでのカニは絶賛されました。温泉の種類や泉質も多様で、温泉が好きな香港の方に強く訴求できるとコメントをいただきました。

また、龍源寺での抹茶体験やなまはげ太鼓鑑賞など、伝統文化が感じられるコンテンツも高く評価され、今後の商品造成及び送客に期待が持てる招請となりました。

香港現地から東北には多くの訪日観光客が来ていることから、一層の誘客促進に向け、引き続きプロモーションを実施してまいります。



【秋田県の龍源寺にて】

東北教育旅行現地研修会を開催しました（12月6日～8日）

東北への教育旅行誘致を目的とした東北教育旅行現地研修会を山形県・福島県にて実施しました。

旅行会社を対象とした3日間の研修会として企画し、1日目「スキー修旅」、2日目「歴史・文化学習」、3日目「震災・防災・減災学習」といったテーマ別にコンテンツを視察してもらいました。東北ならではの深い学びについて知見を広げていただくとともに、各県で開催した商談会では、山形・福島だからこそ学べる探求学習等について、受入側の事業者から提案をいただくなど、「東北教育旅行」の魅力を効果的にPRができました。

参加された旅行会社担当者からは、具体的な質問や意見をいただくなど、熱心に耳を傾けていただき、東北への送客に向けて有意義な研修会となりました。

今後も引き続き、地域と連携した誘致活動に取り組んでまいります。



【蔵王温泉スキー場での視察】



【教育旅行商談会の様子】

広域連携DMO会議に出席しました（12月15日）

12月15日に、第3回広域連携DMO会議が（一社）中央日本総合観光機構幹事のもと名古屋で開催され、東観推からは紺野理事長と渡辺推進本部長が出席しました。広域連携DMOが実施する各エリアの取組み共有や広域連携DMO共通の課題解決に向けた意見交換が活発に行われました。

今回は初めて全国10箇所ある全ての広域連携DMOの幹部が、リアルで一堂に会し、また観光庁中村観光地域振興部長にも参加いただき、大変有意義な内容の濃い会議となりました。今後も同会議の開催等を通じ、各広域連携DMO及び観光庁との連携を強化し、地方誘客の促進に向け役割を果たしてまいります。



【会議の様子】

東北運輸局との意見交換会を開催（12月20日）

今年度2回目となる、東北運輸局との意見交換会が行なわれました。

東北運輸局からは、今後の観光政策等について説明があり、また東観推からは2024年度の事業方針案や、事業内容等について説明しました。その後、現在の東北観光における受入環境など、様々な課題について意見交換を行い、相互連携強化の共通認識のもと意見交換会を終えました。

今後も、東北運輸局をはじめとする関係者方々との連携を密にしながら持続可能な東北観光の実現に向け取り組んでまいります。



【意見交換会の様子】

第3回東北観光DMP担当者会議を開催しました（12月15日）

東北6県、新潟県、仙台市およびDMOのDMP担当者を対象とした会議をハイブリッド方式で開催しました。

第一部の前半では今年度新たにリリース予定のWeb分析ダッシュボードとクロス分析ダッシュボードの概要および操作方法について説明しました。

後半では合同会社六根の細谷友樹氏、安藤皇太氏をお招きし、東北観光DMPのデータから示唆を得る流れと分析事例についてお話しいただきました。

第二部では来年度購入予定の有償データの内容やDMP格納データの取扱いについて説明し、意見交換を行いました。

今後も東北観光DMPの更なる活用促進に向けて、担当者間の連携をとりながら進めてまいります。



【会議の様子】

国内外に向けてSNSで東北の観光情報を発信しています

東観推ではFacebookやInstagram、Weiboを活用して日本国内および海外に向けて観光情報を発信しています。12月は各SNSにおいて「蔵王温泉エリアといわき湯本エリアの観光・体験コンテンツ」や冬のまつりについて紹介した他、東北の冬の風景を発信しました。中でも「光のページェント」や「三陸鉄道のこたつ列車」の投稿には多くの関心を寄せていただき、国内外からの関心の高さがうかがえました。

また、日本語のFacebook、Instagramでは「#東北PR局」のハッシュタグが付いた投稿を紹介しています。皆さまぜひ、「#東北PR局」を付けて東北の魅力を発信してください！

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩楽GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【光のページェント】



【こたつ列車】



【横手のかまくら】

TravMedia「東北プレスセンター」から12月の発信を紹介します

東観推では、多くの有カメディアが情報収集の場として利用しているTravMediaにて、英・米・仏市場を中心に「東北プレスセンター」として情報発信を行っています。

12月は東北の冬のまつりをテーマに「The Winter Festivals In Tohoku Are So Beautiful That You’ ll Forget About the Frigid Cold」として発信を行いました。

記事では、冬に東北地方で開催される3つのまつりの紹介を行いました。紹介したのは、青森の「弘前城雪燈籠まつり」、秋田の「横手のかまくら」、福島の「会津絵ろうそくまつり〜ゆきほたる〜」です。

東北の冬には雪が付きものだからこそ“雪”にまつわる「まつり」が多く開催されます。それぞれ趣の違うまつりを紹介することで東北の冬の魅力を発信しました。

今後も東北各地に根差す文化や季節感豊かな風景の紹介など海外メディアへの情報発信を継続し、東北が魅力的な訪問地であることを世界に印象付けられるよう、広域での効果的な情報発信に取り組んでまいります。



【東北の冬のまつりの記事】

第6回フェニックス塾を開催しました（12月22日）

今年度第6回目となる東観推の観光人材育成の取組み「フェニックス塾」を岩手県盛岡市で開催しました。

【第一部】セミナー

「地方創生と観光開発」

あおもり創生パートナーズ株式会社

専務取締役 高坂 幹氏

【第二部】ワークショップ

「課題への対応策検討」



【高坂氏によるセミナー】

紺野理事長が講演を行いました（12月5日）

●福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会での講演

福島県福島市において、福島商工会議所主催により「福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会」が開催され、参加者を対象に「東北におけるインバウンドの状況と促進に向けて」と題し、講義を行いました。昨今のインバウンドの状況、デジタルマーケティングの重要性について触れ、広域で連携し、磨き上げた地域のコンテンツをオール東北でプロモーションすることについて話しました。

フェニックスアワード2023募集中！ご応募お待ちしております

「フェニックスアワード」は、東北・新潟に関わる観光振興を通じた地域の活性化に尽力貢献し、その功績が顕著であった団体・個人に対して表彰を行い、東北・新潟の観光と地域の発展に寄与することを目的としております。東北6県および新潟県の観光振興に取り組んでいる企業、団体、個人、どなたでも応募可能です。

●応募締め切り：1月31日（水） ※詳細はこちらから <https://www.tohokukanko.jp/business/index.html>

TOHOKU Fan Clubで効果的なプロモーションをしてみませんか！

●TOHOKU Fan Clubは情報発信やアンケート調査ができる効果的なプロモーションツールです

TOHOKU Fan Clubの会員へ地域のイベント情報を発信したり、アンケートの依頼、モニターツアー参加の呼びかけ等をしてみませんか？アンケートは、ターゲットを絞って回答を依頼することもでき、結果を効果的なマーケティングデータとして活用することができます。アンケートの実施、情報発信、モニタープランの参加呼びかけ等を連動させることで、地域への誘客を今まで以上に促進させてみてはいかがでしょうか。

	① 投稿	② アンケート ※4月1日から料金を改定しています	③ オファー
区分	ファンへの情報発信 (≒Facebook)	ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ造成前のテスト マーケティング・認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員 ： 3回まで無料 賛助会員： 1回まで無料	10問まで	<会員特典> 正会員 ： 3回まで無料 賛助会員： 1回まで無料
		30問まで	
		15万円 + ポイント原資	
		35万円 + ポイント原資	



東北觀光經濟概論
2023.12.27

東北粉絲俱樂部會員限定！~在東北旅行中能夠使用的“東北自營路線 享樂優惠券”(約等值6,000日圓)活動中！~

優惠運動的消息，係圖書界精英俱樂部的全體會員！

2023年12月1日起至2024年3月31日止，根據國際收支業務條例(中國)及德國的《海外資產報告法》(EStG)

便道力”。

“東北自駕路線 享樂優惠券”。是凝聚了東北六縣的人氣觀光景點中的門票、參拜、搭乘、餐飲、住宿等自東北六縣出發的觀光客。而該優惠券還可與東北六縣的觀光客交流，並可與東北六縣的觀光客交流。

不論是租車或開自家車，還是一個建議要好好地眼光東北的您嗎？如圖以價的靈雨秀。

100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%



【台湾会員向け「TOHOKU Fan Club会員限定！“Tohoku Drive Route 満喫クーポン”プレゼントキャンペーン実施中！！】

【お問い合わせ先】東北ブランド戦略部 E-mail brand@tohokutourism.jp

「旅東北NEWS」VOL.064 2024年1月15日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】 022-721-1291 【FAX】 022-721-1293

【Email】 info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北觀光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokykanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！